

Column

シリーズ・
障がい者と働き方

ともに、
はたらく。

特別支援学校で専門技能を指導

▼東京都立永福学園（東京都杉並区）

ビルメン企業への就労に 向けた指導を実施

軽度の知的障がいがある生徒が通う都立永福学園では「職業に関する専門教科」として、ビルクリーニングをはじめ、ロジスティクス（物流・事務）、食品、福祉のコースを用意する。

生徒は1年次に各コースをローテーションで学んだ後、各自が希望する進路に応じていずれかのコースを選択する。ビルクリーニングコースでは、タオル、モップ、スクイジーなど基本となる清掃用具の扱い方をはじめ、ポリッシャーやバキュームの操作、実践的な日常・定期清掃業務を学ぶ。学年末には、学



生徒の指導には、市民講師として外部の専門家にも協力を仰ぐ。卒業時には、どの生徒もポリッシャーを軽々と上手に扱えるようになる。

んだ内容をおさらいして習熟度をはかる機会として、技能発表会や技能競技会を行っている。

ビルクリーニングコース主任の杉原英雄教諭は、授業の中で、生徒が理解しやすいように見本を提示し、繰り返し練習する機会を与えることを心がけているそうだ。

「1、2回の練習では技能を身に付けられないので、教える側も粘り強く指導を行います。その際、徐々に支援を減らして自分だけで作業できるように工夫しています」

指導する教員も、専門性を身に付けるために職業研修に参加したり、生徒とともにビルクリーニング技能検定を受検することもあるという。